

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

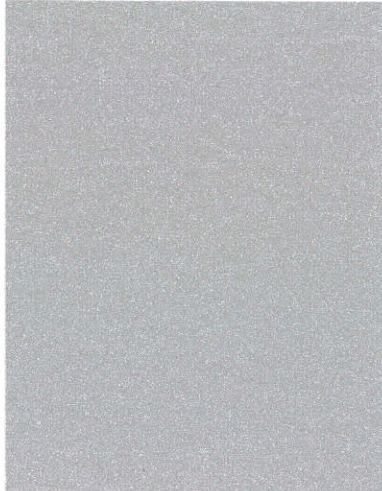


ハリケーン®

HURRICANE SERIES

M幅 103cm幅 × 50m 乱

■基 布 / ポリエステル100%



シルバー 透光率:1%未満



施工例：テント倉庫

ライトアイボリー 透光率:12%



ベージュ 透光率:4%



アイボリー 透光率:10%



イエロー 透光率:9%



オレンジ 透光率:8%



レッド 透光率:7%



ホワイト 透光率:10%



ライトグレー 透光率:5%



グレー 透光率:1%



スカイブルー 透光率:1%未満



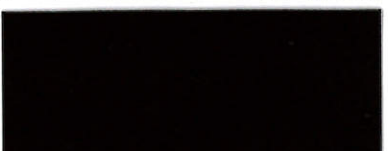
ブルー 透光率:1%未満



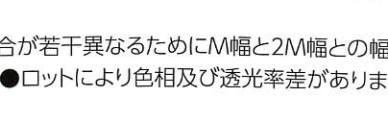
ネイビー 透光率:1%未満



ダークブラウン 透光率:1%未満



ブラック 透光率:1%未満



ワサビ 透光率:1%未満



モスグリーン 透光率:1%未満



エメラルド 透光率:1%未満



イエローグリーン 透光率:1%



ライトグリーン 透光率:1%未満



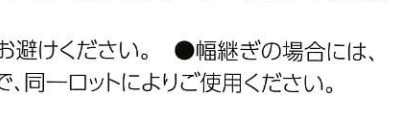
グリーン 透光率:1%未満



ダークグリーン 透光率:1%未満



プリティッシュグリーン 透光率:1%未満



●注意：●シルバーのみ別価格となります。●表面風合が若干異なるためにM幅と2M幅との幅継はお避けください。●幅継ぎの場合には、布目を一定方向の揃えてお取り付けください。●ロットにより色相及び透光率差がありますので、同一ロットによりご使用ください。

2 M 203cm 幅 × 50m 乱

■基 布 / ポリエステル100%



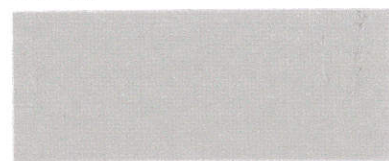
施工例：テント倉庫

ライトアイボリー

透光率:12%

ホワイト

透光率:10%



グレー

透光率:1%



シルバー

透光率:1%未満



モスグリーン

透光率:1%未満



リーフグリーン

透光率:1%未満



グリーン

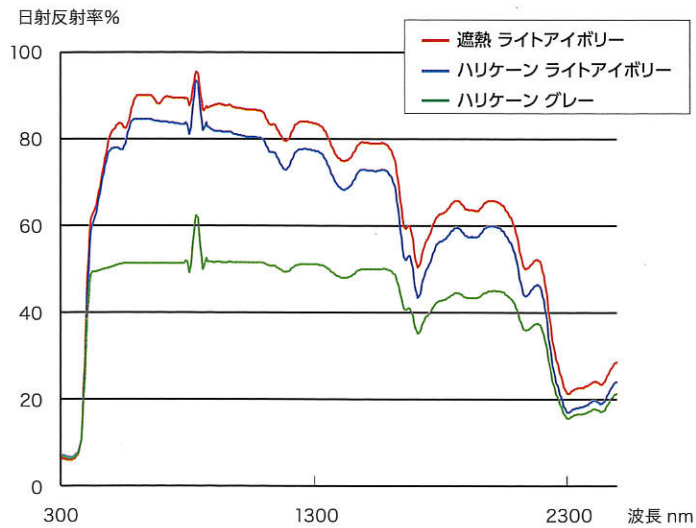
透光率:1%未満

2 M 203cm 幅 × 50m 乱

■基 布 / ポリエステル100%

ライトアイボリー

透光率:5%



生地に遮熱性を持たせることで、節電&省エネに貢献

一般的にグレーなどの濃色の生地よりも遮熱効果が高いライトアイボリー色。

そのライトアイボリー色にさらに遮熱配合を施すことで、太陽光の赤外線をより反射し、生地の温度上昇を抑えました。

テント倉庫に使用することで、夏場の庫内における快適性、節電・省エネ効果を生み出します。

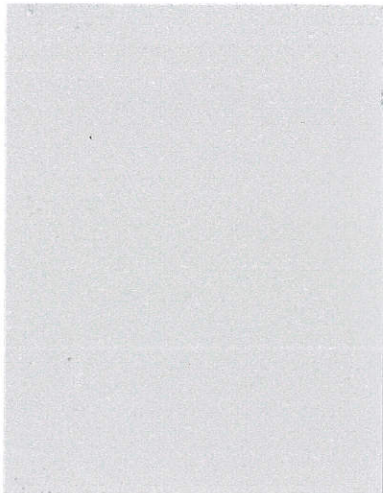
ハリケーン® C種膜材料

テント倉庫、中大型テント構造物、工場荷捌き場等



2 M 204cm 幅 × 50m 乱

■基 布 / ポリエステル100%



グレー

透光率:1%未満

(財)日本防災協会
防災製品番号 F-29121

国土交通大臣認定
建築基準法第37条第二号認定品 MMEM-0070



施工例：工場荷捌き場

ホワイト

透光率:7%

ライトアイボリー

透光率:6%

フローザー® 不燃膜材料

テント倉庫、中大型テント構造物、工場荷捌き場等



2 M 204cm 幅 × 50m 乱

■基 布 / ガラス繊維100%

国土交通大臣認定
建築基準法第2条第九号及び同法施行令第108条の2 (不燃材料認定)適合品 不燃材料認定番号 NM-0414

国土交通大臣認定
建築基準法第37条第二号認定品 MMEM-0058



施工例：テント倉庫

ライトアイボリー

透光率:8%

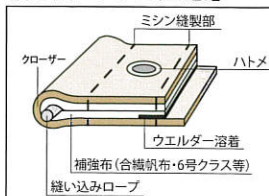
ホワイト

透光率:6%

グレー

透光率:1%

【縫製上のご注意】



A.ガラス繊維は、屈曲に弱い面があり縫製時及び取り付けの際、折り曲げに充分ご注意ください。

B.縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側にあてがってご使用ください。

標準物性表・各認定番号

品名	幅×長さ (cm) (m)	厚さ (mm)	重量 (g/㎡)	引張強さ (kgf/3cm) (N/3cm)		破断伸び率 (%)		引裂強さ (kgf) (N)		耐水度 (mm・H ₂ O) (Pa)
				タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
ハリケン	103×50乱	0.48	560	177 (1735)	142 (1387)	24	24	9 (88)	10 (99)	1500以上
ハリケン遮熱	203×50乱	0.48	560							
測定法	JIS L 1096			JIS L 1096 A法 (ストリップ法)				JIS L 1096 A1法 (シングルタング法)		JIS L 1092 A法 (低水圧法)

(注) 上記数値は実測値であり、保証値ではありません。

- 建築基準法第37条第二号に関する認定番号(建築材料の品質) **MMEM-9033**
- 建築基準法施行令第109条の5第一号に関する認定番号 **UW-9017**
- 建築基準法第84条の2、施行令第136条の9、令第136条の10、令第136条の11、平12建告1443号、
JIS A 1322 防災2級合格
- (財)日本防災協会 防災製品番号 **F-06009**

品名	幅×長さ (cm) (m)	厚さ (mm)	重量 (g/㎡)	引張強さ (kgf/3cm) (N/3cm)		破断伸び率 (%)		引裂強さ (kgf) (N)		耐水度 (mm・H ₂ O) (Pa)
				タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
ハリケンC	204×50乱	0.58	690	175 (1711)	140 (1371)	23	23	18 (172)	15 (143)	2000以上
測定法	JIS L 1096			JIS L 1096 A法 (ストリップ法)				JIS L 1096 A1法 (トラベゾイド法)		JIS L 1092 A法 (低水圧法)

(注) 上記数値は実測値であり、保証値ではありません。

- 建築基準法第37条第二号に関する認定番号(建築材料の品質) **MMEM-0070**
- 建築基準法施行令第109条の5第一号に関する認定番号 **UW-9017**
- 建築基準法第84条の2、施行令第136条の9、令第136条の10、令第136条の11、平12建告1443号、
JIS A 1322 防災2級合格
- (財)日本防災協会 防災製品番号 **F-29121**

品名	幅×長さ (cm) (m)	厚さ (mm)	重量 (g/㎡)	引張強さ (kgf/3cm) (N/3cm)		破断伸び率 (%)		引裂強さ (kgf) (N)		耐水度 (mm・H ₂ O) (Pa)
				タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
クローザー	204×50乱	0.57	840	332 (3250)	296 (2900)	5.5	6.4	16.3 (160)	17.3 (170)	2000以上
測定法	JIS L 1096			JIS L 1096 A法 (ストリップ法)				JIS L 1096 C法 (トラベゾイド法)		JIS L 1092 A法 (低水圧法)

項目(単位)	測定値	測定法
耐もみ性	異常なし	JIS K 6404-6
耐寒性	-25℃ 異常なし	JIS M 7102
ウェルダ一部引張強度(N/3cm)	3100(タテ)×2800(ヨコ)	JIS L 1096 A法(ストリップ法) 高周波溶着幅 40mm
耐引張クリープ性	60℃ 1/10荷重 6時間 異常なし	JIS K 7115 高周波溶着幅 40mm
耐水長(mm)	10.1(タテ)×11.6(ヨコ)	Jパイロットインク3%水溶液に 72時間浸漬

(注) 上記数値は実測値であり、保証値ではありません。

設計基準強度	タテ系 方向の基準強度 938N/cm
	ヨコ系 方向の基準強度 910N/cm

- 建築基準法第37条第二号に関する認定番号(建築材料の品質) **MMEM-0058**
- 建築基準法第2条第九号及び同法施行令第108条の2(不燃材料認定)適合品 不燃材料認定番号 **NM-0414**
- (財)日本防災協会 防災製品番号 **F-26303**

使用上の注意

1 ロットNo.による品質、出荷管理について

- ① 膜材料(原反)には、ロットNo.がサイドラベルに記載されております。
 - ② ロットNo.で品質、出荷管理をいたしておりますので、縫製された製品には製造番号を付与し、これに使用した膜材料のロットNo.を必ず記録、保存してください。
- ※ 膜材料のロットNo.の記録がない場合、製品に問題が生じて膜材料の品質証明を行うことが困難になります。
- ③ 品質には万全を期しておりますが、万が一問題が生じましたら、ただちに当社又は販売元に膜材料の品番とロットNo.を必ず連絡してください。
 - ④ 保管は、高温・多湿を避け、変形するような積み方は避けてください。
 - ⑤ 長期間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無を確認してください。
 - ⑥ サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いのある場合があります。
 - ⑦ 本カタログの記載内容は事前の予告なしに変更することがあります。

2 縫製上の注意

- ① ライスター、パフ等の熱融着による接合の際は、臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
- ② 高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に通電性を有する物質が付着していると、稀にスパークを起こすことがありますので、ウエルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
- ③ 膜材料が鉄骨等と直接接触する部分には、必ず補強をしてください。
- ④ 印刷する場合は、印刷性を事前に確認してください。
- ⑤ 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNo.の使用をお勧めします。

3 膜材料縫製品使用上の注意

- ① 膜材料は、はためくと防水樹脂の亀裂及び剥離が生じ、防水機能の低下により漏水し、保管物、積載品等を濡らしますので、使用時には、はためかないように十分に固定してください。
- ② 膜材料は、使用条件によっては内外温度差等により膜材料内面に露が発生して、保管物、積載品等を濡らしますので、綿帆布等の通気性及び吸湿性の良い物を内張材として使用してください。
- ③ トラックシート(平掛シート)の場合は必ず2枚重ねで使用してください。
- ④ 縫製品を安全に使用していただくためには、定期的に点検を実施してください。その際に膜材料の防水樹脂がはがれたり、基布が見えたり、破れを発見した場合は、ただちに膜材料の補修又は交換をしてください。
- ⑤ 洗浄する場合は、表面を浸さない柔らかいスポンジ等に中性洗剤を浸し、拭き取ってください。あとは十分に水洗い、乾燥してから使用してください。

4 廃棄について

膜材料及び膜材料縫製品を廃棄される際は、下記の方法で処理してください。

- ① 廃棄物処理法、都道府県条例等に従って処理してください。
- ② 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

製造・発売元

帝人フロンティア株式会社

大阪/〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト 31F
TEL.06(6233)3154 FAX.06(6233)5191

東京/〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目14番1号
NBFコモディオ汐留 7F
TEL.03(6402)7013 FAX. 03(6402)7076

<http://tent.teijin.co.jp/>

お問い合わせ先